

逗子文化・教育ゾーン整備事業第2期工事 市民交流センターが完成しました。



西側外観



1階：カフェラウンジ



3階：体育館



航空写真

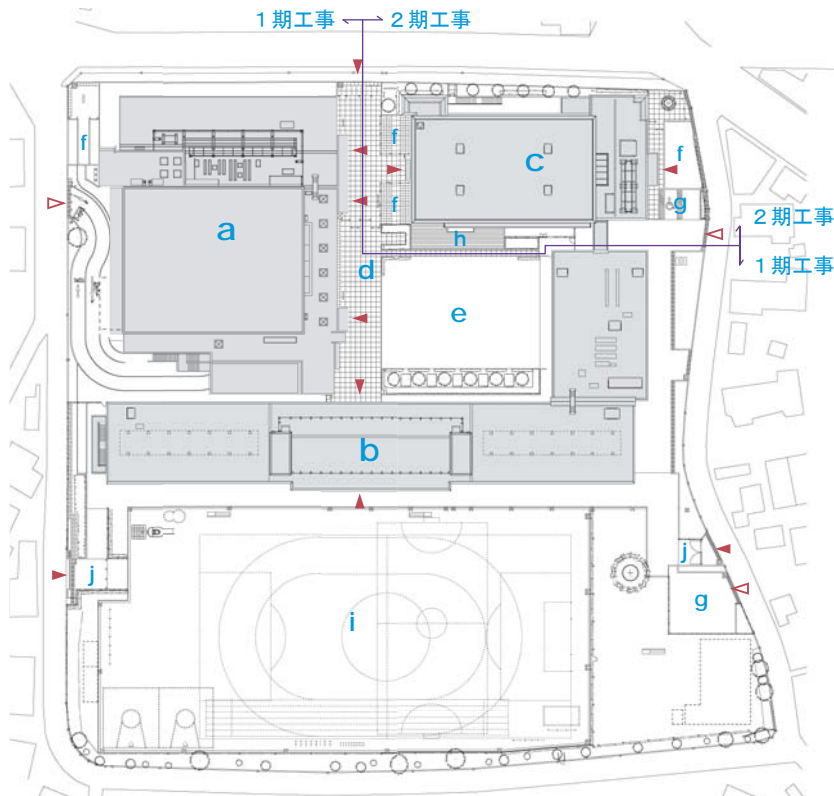
CONCEPT

「市民の活動を演出する
交流の場の形成」

第二期工事である市民交流センターは、市民一人ひとりが生きがいと潤いをもって充実した生活を営むことができるよう支援する市民活動機能と逗子小学校の特別教室、体育館、屋内温水プールからなる複合施設です。

施設は第一期工事のホール図書館棟と逗子文化プラザのアプローチ空間であるコミュニティレーンを挟み、向い合って配置しています。このため市民が気軽に立ち寄れるよう、1階にはオープンな市民活動スペースやカフェラウンジを配置し、外観は透明感あるMPGガラスカーテンウォールとすることで「市民交流の場」が外からも視覚的に感じられるよう計画しています。上階には、小学校の特別教室、体育館が配置され、渡り廊下にて第一期工事の逗子小学校と接続しています。又地下には市民の健康増進に寄与する、地域開放型の屋内温水プールが配置されています。

SITE PLAN



- a. ホール図書館棟
- b. 逗子小学校
- c. 市民交流センター
- d. コミュニティレーン
- e. フェスティバルプラザ
- f. 駐輪場
- g. 駐車場
- h. テラス
- i. グラウンド
- j. 正門
- ◀ 出入口
- ◀ 出入口：車両

SITE PLAN S=1:1500

写真：三輪見久写真研究所

DATA

敷地面積：	13,661.64㎡
建築面積：	3,443.80㎡
延床面積：	10,524.97㎡
建ぺい率：	25.21%（許容63%）
容積率：	77.04%（許容230%）
構造・規模：	RC、一部S造 地下1階、地上3階
最高高さ：	19.1m
軒高：	18.0m
階高：	1・2階4.2m、3階3.9m
天井高さ：	2.85m、3.0m等
主なスパン：	6.4m×10.7m 19.2m×5.8m
設計期間：	2004.06～2005.03
工事期間：	2006.03～2007.05

TOPICS

「波の動き」をモチーフとした、外観のアクセントパターン。逗子文化プラザでは共通のデザイン要素として逗子の風景である「波の動き」をモチーフに、ランダムなパターンを採用してきました。市民交流センターでは、3種類の押出成形セメント板を使用し、パターンを形成しています。



<http://www.nissoken.co.jp>